

看護師等養成施設長 様

一般社団法人日本看護学校協議会
会 長 水 方 智



令和 8 年度 中堅期看護教員スキルアップ研修会の開催について

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃は、一般社団法人日本看護学校協議会の活動にご協力、ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、標記につきまして次のとおり開催いたします。ご多忙中とは存じますが、貴施設関係者のご参加をいただきたくご案内申し上げます。

記

1. 日 程 講義及びグループワーク 令和 8 年 4 月 4 日 (土)、4 月 25 日 (土)、4 月 26 日 (日)
自校での取り組み 令和 8 年 5 月～8 月 (自校での取り組み)
自校での取り組みの報告会 令和 8 年 9 月 19 日 (土) (中間報告会)
他校でのフィールドワーク 令和 8 年 9 月～令和 9 年 2 月 (1～3 日間)
まとめ・グループ発表・講評 令和 9 年 2 月 20 日 (土) (対面を予定)
2. 方 法 オンライン：令和 8 年 4 月 4 日 (土)、4 月 25 日 (土)、4 月 26 日 (日)、9 月 19 日 (土)
講義及びグループワーク、自校での取り組みの報告会 (中間報告会)
会 場：アルカディア市ヶ谷 (私学会館) 令和 9 年 2 月 20 日 (土)
まとめ・グループ発表・講評 (対面を予定)
3. 開催要項等 別添参照
4. 対象者・定員 中堅看護教員 (教員経験 5 年以上) 50 名
全ての日程で出席が可能な方
5. 参 加 費 1 名 35,000 円 (税込み) (7,000 円×5 日間)
6. 申込み方法 参加申し込み、参加費振り込みは **manaable** 画面上より手続きください。
なお、参加費は原則として返金いたしませんのでご了承ください。
申し込み受付後はご連絡いたしませんので、各自 **manaable** 画面上での
ご確認をお願いいたします。
7. 請 求 書 **manaable** 上での請求書発行は、**GMO あおぞらネット銀行**の振込入金専用の
バーチャル口座のため、「銀行名・支店名・口座種別・口座番号・口座名義」が
記載されていない請求書となります。銀行名、口座番号などが記載された請求書
を発行ご希望の方は **manaable** 内の請求書発行依頼フォームより必要事項の
ご入力をお願いいたします。確認次第、順次メールにてご対応いたします。
ご郵送は承っておりませんのでご了承ください。
8. 申込み締め切り **令和 8 年 3 月 13 日 (金) (必着)**
*申込み締切日以前に定員を満たした場合は、恐縮ですがその時点で
締め切りとさせていただきます。よろしくお願いいたします。
9. そ の 他 研修会に関するお問い合わせは下記メールをお願いいたします。
メールアドレス am-7578@nihonkango.org

令和8年度 中堅期看護教員スキルアップ研修会 開催要項

(一社) 日本看護学校協議会

1. 日 程

講義及びグループワーク	令和8年4月4日(土)、4月25日(土)、4月26日(日)
自校での取り組み	令和8年5月～8月
自校での取り組みの報告会	令和8年9月19日(土)
他校でのフィールドワーク	令和8年9月～令和9年2月(1～3日間)
まとめ・グループ発表・講評	令和9年2月20日(土)(対面を予定)

2. 方 法

オンライン：令和8年4月4日(土)、4月25日(土)、4月26日(日)、9月19日(土)
講義及びグループワーク、自校での取り組みの報告会(中間報告会)

会 場：アルカディア市ヶ谷(私学会館) 令和9年2月20日(土)
まとめ・グループ発表・講評(対面を予定)

3. 目的、目標

1) 目 的

学校経営に関心を持ち、組織改善に寄与することが出来る。

2) 目 標

- (1) 保健・医療・福祉を取り巻く状況を知り、看護基礎教育の役割を再認識できる。
- (2) 中堅教員として、組織の中での自己の役割に気づくことができる。
- (3) 自校の特徴に気づき、組織改善につながる手がかりをつかむ。

4. 対象者・定員

中堅看護教員(教員経験5年以上) 50名 全ての日程で出席が可能な方

5. 内容と方法

1) 講義・グループワーク

講義1 「中堅教員に必要な能力」 講師 水方 智子(日本看護学校協議会 会長)
講義2 「経験学習と人材育成」 講師 松尾 睦(青山学院大学 経済学部経済学科 教授)
講義3 「看護学校におけるリーダーシップ」 講師 水本徳明氏
(同志社女子大学教職課程センター特任教授)

2) 自校での取り組み(中間報告含む)

- ① 自校でのリーダー行動計画を立て実施する。
- ② 4月の課題を踏まえて自己の実践を報告する(中間報告会)

3) フィールドワーク

- ① 他校を訪問し、他校におけるリーダー行動を見学する。
- ② リーダーに必要な問題解決能力について考察する。

4) まとめ

まとめの交流会を持ち、講師から講評をいただく。